



平成 19 年 1 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ ャ ン ド ウ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 城 戸 博 司  
(コード番号:2698 東証第一部)  
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 部 長 武 藤 真 朗  
電 話 番 号 03-5944-4112

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等をふまえ、平成 18 年 7 月 13 日中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 1. 平成 18 年 11 月期業績予想数値の修正(平成 17 年 12 月 1 日～平成 18 年 11 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 ( A )	68,140	2,536	722
今 回 修 正 ( B )	66,574	2,101	500
増 減 ( B - A )	1,566	435	222
増 減 率	2.3 %	17.2 %	30.7 %
(ご参考)前期実績	65,852	2,955	1,145

### 2. 修正の理由

売上高につきましては、出店は計画をやや上回る店舗数で着地したものの、想定していた第4四半期からの既存店売上高回復が遅れたため、上記のとおり未達の見込みとなりました。これに伴い経常利益、当期純利益も前回予想を下回ります。既存店売上高回復の施策として、100 円以上の価格帯の商品を提供する「生活雑貨」の積極的導入を計画しておりましたが、導入フォーマットの確立に試行錯誤を重ねたため導入ペースが遅れ、業績への寄与は軽微にとどまりました。また、商品力に関してアイテム数の増加によるお買上点数アップを図りましたが、こちらも急速な売上向上には結びつけることができませんでした。しかしながら、これらの施策は重要課題として継続しており、徐々に効果を表しつつあります。

経常利益につきましては、売上総利益率は概ね想定通り、経費発生は計画を若干上回りますが、中間期で計上したデリバティブ評価損のうち 1 億 04 百万円が為替変動のため戻し入れとなります。当期純利益につきましては、不採算店の減損損失を中間期以後の追加分として 1 億 54 百万円計上いたします。以上より上記の通り予想数値を修正いたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上